

VI その他事業

1 男女共同参画意識の普及推進のための講座

事業名	男女共同参画に関するDVD上映会「ビリーブ 未来への大逆転」
目的	女性の地位向上に尽力した人の半生を知る
実施日時 及び 会場	第1回目： 8月29日（土）14:10～16:40 南市民センター 第2回目： 9月26日（土）14:15～16:45 富士見市民センター 第3回目： 10月24日（土）14:30～17:00 北市民センター 感染防止の観点から少人数となるよう、同じ内容で3回開催
協力	ハーモニーふれあいウィーク企画委員有志
内容	ルース・ベイダー・ギンズバーグさん（1993年にアメリカ最高裁判所判事に指名され、2020年9月に87歳で死去するまで、性差別の撤廃などを求めるリベラル派判事として影響力を持っていた女性）の半生を描いた映画を上映し、感想を共有した。
参加者数	第1回目： 6人 第2回目： 6人 第3回目： 5人 延べ参加者17人
参加者の感想	
<p>【第1回目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 濃密でした。10年前に、寡婦と寡夫の控除条件に差を設けた税法の性差別について、展示を作成したことを思い出しました。100年前も今も、正義は同じ。「過激」とは、正義を直視できない臆病者の言い訳にすぎない！ <p>【第2回目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ラストの歌を一度フルコーラスで聴いてみたい。この映画のテーマや、ギンズバーグさんの思いを、歌詞から読み取ることができるかもしれないので。何百の法律、何百年の慣習であっても、誤りであれば必ず正すことができる。それも一瞬で。裁判官や政府側は負けたのではなく、誤りの呪縛から解放されたのだ。それがあの微笑に表れていたのだと気づいた。 とても良かったです。もう少し女性が法律などに興味を持って欲しいと思いました。 映画に感動しましたよ。 よい企画をありがとうございました。 <p>【第3回目】</p> <ul style="list-style-type: none"> この映画の紹介がなければ、ギンズバーグ判事のことアメリカの制度も知ることがなかったと思います。よい機会でした。日本という国のジェンダーのあり方を皆で話し合う、気づき合う機会があってもよいと思います。男性が逃げたくなるような話題ではありません 	

が、それが問題でありますので、リーダー的存在でそれを維持したい方々に足元から自分の意識を考え直してもらいたいと思っております。それがなかなか難しいのですよね。そう思うことが問題なのかも。

- ・ とても良い映画でした。感動しました。
- ・ この映画や、今のアメリカの最高裁判事の人事争いを見ていると、判事や議員とは何か考えさせられる。昔も今も、正義は一つ。性差別をなくすという一つの正義があるだけで、ブラウン教授もトランプ大統領も、実は正義を知っている。しかし正義を相対的なものと捉え、伝統や現状維持を正義より優先させる。それが「保守」なのか。一方、正義を絶対視できる人たちが「リベラル」なのか。とすれば、判事や議員は国民より先に全員が「リベラル」になるべきなのか。少なくともそれを目指すべきなのか。

2 ワーク・ライフ・バランスの普及推進のための講座

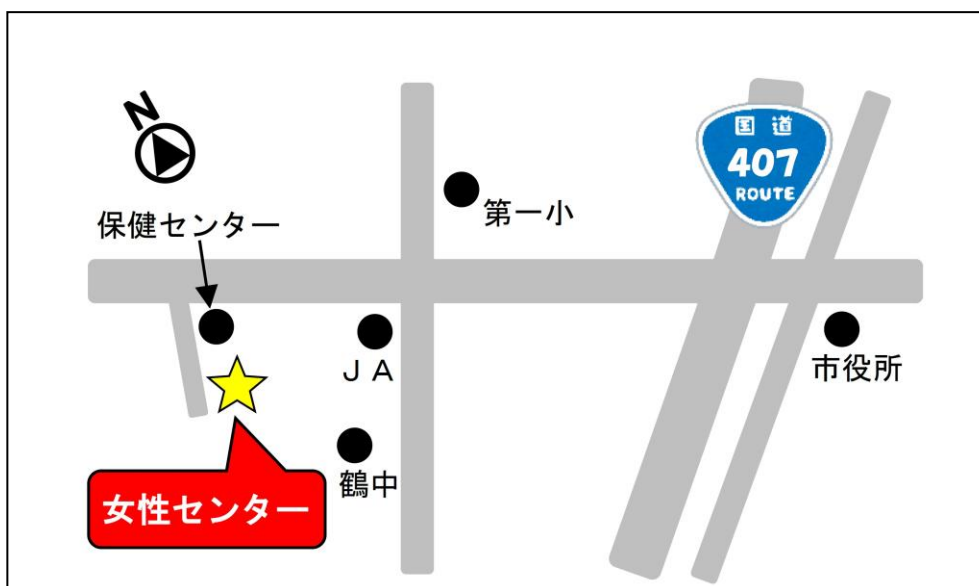
事業名	パパといっしょにチャレンジクッキング
目的	父親（祖父）が子どもと料理をすることで、男性も仕事と家庭を両立し、性別に関わりなく家事、育児を分担するきっかけとしてもらう講座
実施日時	第1回目：11月21日（土）10:00～13:00 第2回目：11月22日（日）10:00～13:00 感染防止の観点から少人数となるよう、同じ内容で2回開催
講師	福島光子さん（一般社団法人日本野菜ソムリエ協会 野菜ソムリエプロ）
内容	・ 調理実習（飾り巻きずし） ・ 女性センターから、「夫婦が本音で話せる魔法のシート『〇〇家作戦会議』（出典：内閣府）の情報提供
受講者数	第1回目：3組7人 第2回目：4組9人 延べ受講者：7組16人
その他	内閣府「“おとう飯”始めよう」キャンペーンを活用
参加者の感想	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 飾り巻きずしの作り方が理解できた。 ・ 子どもが嬉しそうだった。 ・ 切った時の感動が良かったです。 ・ 家ではやらない事を、子どもと一緒にやらせてもらって良かった。 ・ 新しいチャレンジができて嬉しいし、楽しかったです。 ・ コロナの中、こういうイベントをして頂けるのはありがたいです。 	

3 性別に起因する暴力防止のための講座

事業名	デートDV予防講座
目的	中学3年生を対象とした、若年層で増加しているデートDVの予防及び深刻化の防止を目的とする講座
共催	市内中学校全校
実施日時 学校 生徒数	第1回目：12月3日（木）13:40～15:10 藤中学校 156人 第2回目：3月2日（火）8:50～10:20 南中学校 69人 第3回目：3月2日（火）10:55～12:25 富士見中学校 70人 第4回目：3月5日（金）8:50～10:20 西中学校 118人 第5回目：3月5日（金）10:55～12:25 鶴ヶ島中学校 124人
講師	大内真沙美さん（深谷赤十字病院看護師）
内容	「デートDV～お互いを大切にする関係とは～」 ・ デートDVは誰にでも起こりうること ・ 暴力の種類（ネットによる中傷も含む） ・ 性自認の多様性 ・ 性的自己決定権 ・ 性感染症のリスク ・ 困ったときの相談先 ・ お互いを大切にする関係とは など
生徒合計	537人
生徒の感想（抜粋）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 暴力には、身体的暴力、精神的暴力、デジタル暴力など、たくさんの種類があることを知りました。 ・ 誰にでも起こりうること。しっかり知識をたくわえて自分の身体を大切にしようと思いました。 ・ 束縛は、自己肯定感の低さからも来ていると思いました。自分を大切にすることの重要性を考える良い機会になりました。 ・ 自分には関係ないと思っていたけれど、講座を受けて、他人事ではないと思いました。 	

利用案内

- 【開館時間】 9時から21時まで
【受付時間】 火曜日から土曜日 9時から17時15分まで
(祝日及び施設の休館日を除く)
【休館日】 12月28日から1月4日まで
その他管理上必要があるとき



鶴ヶ島市女性センター「ハーモニー」

〒350-2213 埼玉県鶴ヶ島市大字脚折 1922 番地 7
TEL:049-287-4755 FAX:049-271-5297